

ぜっ校長!

第30号…中間テストまであと2日?
2019(令和元)年11月12日(火)
稲羽中学校 校長 江口 雅明

☆全校道德?!～私はどうすればよかったのでしょうか?～

▼(もう3週間も前のことですが)10月24日(木)の朝の出来事です。私は、全日本中学校長会研究総会に岐阜県の代表の一人として群馬県前橋市に出張していました。宿泊先のホテルは高崎市でしたので、「両毛線」で約15分の移動でした。朝7時過ぎの電車は、通勤・通学の人で満員。私は、ドア付近で立っていました。電車が前橋駅の一つ前の駅を出発した直後に事件は起きました。“何か”が私の耳元に「ブ～ン」と不気味な音を立てながら飛んできて止まったのです。「うわっ」と思い、手で払い除けたその“何か”が、私のすぐそばに座っていた若い女性の頭に落ちました。それは、親指くらいの大きさの、黄色と黒色の鮮やかな・・・スズメバチでした! そのスズメバチは、飛び回ることもなく、その若い女性の長い髪の上をゴソゴソと動き回っています。本来なら満員電車の中で座れてラッキーなはずなのに、女性は自分が危機に遭遇していることなど何も知らずに熟睡しているようでした。私は、「どうしよう」と思い、心の中でいろいろと考えました。勇気を出して、「お嬢さん、危ない!」とスズメバチを払い除けたら・・・「危ないところを助けていただいてありがとうございます」と女性に感謝される? ちょっと待てよ・・・女性の髪に触れたことで、痴漢扱いされて警察に逮捕されるかも? いや、待てよ・・・スズメバチが飛び回って電車の中がパニックになるのでは? そんなことを考えているうちに、私は「頼む!早く前橋駅に着いてくれ!早く!」と祈っていました。ふと女性を見ると、髪に違和感をもったのか、手で髪を触り始めたのです。スズメバチは女性の髪の中に入り込んでいきました。私は、全身の血が抜けていくような恐怖を感じました。私はもう何も考えられませんでした。その時、電車は前橋駅に到着し、ドアが開きました。私は、逃げるようにその場を去りました。直後に女性の「きゃっ」という叫びが聞こえたような気がしましたが、怖くて振り返ることができませんでした。私は、どうすればよかったのでしょうか?



→この話を読んで感じたこと・思ったことがあれば、生活ノートに書いてくださいね。

☆What Cool Students! 稲中生、頑張っています!

【ボランティア 50 回達成者】 ※敬称略 ②=2冊目 ③=3冊目 ④=4冊目 ⑤=5冊目
◎森 旺次郎(1-1)④ ◎足立咲乃輔(1-1)② ◎長瀬 李紅(1-1)② ◎安田 萌(1-3)
◎永井 美加(2-3)⑤ ◎岩佐 一花(2-3) →7冊目! …生徒会長も頑張っています!

▼校長室の廊下掲示板が皆さんの「ボランティア活動歴50回認証状」でいっぱいになってしまったので、校長通信「ぜっ校長」を全部移動させて、リニューアルしました。現在260冊(実質125名)です。あと34冊で、全校生徒数になります! 私ももう少しで50回を達成します。“まだまだ”の生徒も、“もう少し”の生徒も、頑張っ

